

平成27年度 放課後児童クラブ 「秋津」 事業報告

子ども・子育て関連3法の制定により児童福祉法が改定され、対象児童の明確化（小学校の就学している児童）と放課後児童健全育成事業の設備及び運営について、国で定める基準を踏まえて市町村が条例で基準を定めることが規定されました。新制度開始に伴い、湖西市では、「湖西市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」が出されました。条例で定められた基準の中で、秋津独自の特徴（市内全地域の児童の迎え、開所時間、給食提供等）を活かしながら、需要の増加が予測されますニーズに応えながら、事業を行っています。

今年度の利用者数は、毎日の利用が67人、長期利用91人でした。支援員は、静岡県の研修が始まり、1回目は、役割と育成支援の内容と遊びの技術について学びました。参加者も多く、他の児童クラブとの情報交換もでき、支援員は、勉強になったと刺激を受けています。

また、保護者の就労状況による預かり以外に、子どもの発育や発達について、生活や友だちとの関わりなど保護者からの子どもについての相談事も多くなってきました。「秋津」では、子ども達と安全に過ごすと共に、年齢や個に応じた対応を放課後児童支援員が身に付け、相談できる環境をつくることと、記録に残し、検討会議をしていきたいと思ひます。

<岡崎保育園 放課後児童クラブ 秋津 (あきつ) の目標>

「自分から考えて行動できる子ども」

「気持ちの良いあいさつができる子ども」

法人事業計画の概要・方針	重点目標	事業報告
1. 条例に沿った内容の実践 静岡県放課後児童クラブガイドラインの添って、湖西市の定める条例に基づいて、担当業務のあり方を把握したうえ、実践し振りかえりを行う。 各担当組織、職員個々が目標を持って行動し、担当組織や自分の担当業務の振り返りを行う。	①一人ひとりの児童を理解し、自主性を育てる。	★一人ひとりの子どもの育ちを「できた」「できない」だけととらえないで、その子の思い、経験、過程を大切にしたらえていく。 ★年間予定を決めて役割を持つ ・結果だけ考えるのではなく、保育の過程を大切にしながら、実践や子どもの記録の方法を検討する。 ・子どもの思いに耳を傾け、子どもの姿を読み取る方法を学び合う。 ・非常勤職員（児童厚生員）を中心に、学習、遊びのメリハリをつけていく。
2. 国、市の方針、環境変化に応じた園の経営 国の「子ども・子育て新システム」、市の保育対策等への適合をはかる。 2016年認定こども園となることを前提にして、その準備をする。 地域の利用者の保育ニーズ、学童保育ニーズへ対応する。	②利用者のニーズを把握する。	★放課後児童クラブの意味、目的を職員が理解し、利用者にも伝えていく。 ・丁寧な説明と心配り ★秋津（あきつ）の意味を共有する。 ★会議の充実をはかる。 ・職員会議や保護者への説明を計画性に行う。 ★給食の提供（保育園との連携） ★園児との交流 長期期間等を利用し、園児と交流 一緒に遊び子ども同士の中からルールを覚えたり、流しそめんをしたり遊びを通して楽しむ。 ★学校の様子の情報を得る ★湖西市子育て支援センター（学童担当）と連携を図る
3. 保護者への積極的な子育て支援 保護者への支援、保護者との連携強化する。	③社会性を身につけ、仲間意識を身につける。相談できる場所や人をつくる。	★子どもの姿を伝え合い、保護者とコミュニケーションをはかり、信頼関係を築く。 ・保育園行事に参加する。 ★長期休暇等で、社会体験を行う。 ・公共のルールやマナーを体験する ・保護者に様子を随時伝えていく ・給食提供 ★相談しやすい姿勢、環境をつくる
4. 保育環境の整備 子どもたちの安全と衛生的な環境危機管理体制の確立。災害対策、日々の保育事故、食事や衛生管理等。修繕や備品の購入は年次を追って計画的に進める。	④子どもの過ごしやすい環境を常に考え、たくさんの人とかかわり生活体験をする。	★森の整備 集団で遊べる環境作り カブトムシ クワガタ探し サッカー ドッチボール ★マニュアル作成 ・事故ヒヤリハットの確認検証 ★人との関わり経験をしていく中で、感謝の気持ちに触れ思いやり保育につなげてく。 ★課外活動の確認
5. 働きやすい環境づくり 職員の確保・育成 自ら学ぶ姿勢を支援する。	⑤職員一人ひとりが意識をして、働きやすい職場環境を目指す。	★個人目標をもち、意識の向上を図る。 ★自己チェックと評価 ★研修参加 ・みんなでの共通意識をもつ。
6. タイムリーな情報発信 ホームページ充実	⑥実践に込められた思いの発信をする。	★ホームページの「秋津」の情報提供 ★パンフレットの作成
7. 環境を守る取り組み 保育の中にも職員の行動にも環境問題を考えた対応をする ものを大切に。動物・植物を大切に。	⑦食育やエコ活動を通じて生きることの基本を学ぶ。	★花壇の苗うえ 雨水を使用した水やり

